

奥州市議会議員選挙

日本共産党

4議席!

民報

おうしゅう

読者版



たくさんのご支援ありがとうございました!

3月8日、投開票で行われた奥州市議会議員選挙では、今野裕文、千葉敦、佐藤美雪(いずれも現職)、千田美津子(元職)の4名が当選。瀬川貞清候補は残念ながら、議席まで届きませんでした。みなさんの温かいご支援ありがとうございました。

みなさんと一緒に

全力を尽くします

多数激戦の奥州市議会議員選挙が終わりました。日本共産党現有5議席をめざして奮闘しましたが、残念ながら1議席減の4議席にとどまりました。ご支援いただきました皆さんに心から感謝申し上げます。

この間、多くの皆さんに、チラシ配布や支持拡大などにも取り組んでいただきました。大変ありがとうございました。ありがとうございます。日本共産党は、今度の市議選を、

発行 赤旗奥州出張所 水沢大手町三丁目 59番地 Tel 24-2021 Fax 24-2049



遊休農地の拡大に対策が必要

奥州市議会 第2回定例会

千葉敦議員は、遊休農地が耕作条件のよくない中山間地だけでなく、ここ数年で耕作地として恵まれている平坦部にも見受けられるので、対応が必要では、と質しました。



千田美津子

日本共産党奥州市委員長

- ① 新医療センターの早期整備で地域医療を守る
② 物価高騰対策の実施で市民のくらしを守る
③ 高市強権政治にノーの声をあげよう!

地道な活動と啓発に努める

伊藤農業委員会会長は「相対的に条件の良い平場の圃場でも、農地の形状や生産条件により、自作や貸借による営農再開に至らない場合がある。未相続の貸し借りは、法定相続人過半数以上の同意が必要で貸借に至らないケースもある。農地パトロールや委員による幹旋活動など、地道な活動と啓発活動に努めていく」と述べました。

遊休農地での羊の放牧の活用を広げて

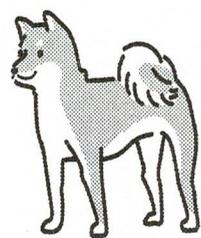
千葉敦議員は、遊休農地での羊の放牧による活用を広げるために、市の支援策をさらに、JA岩手江刺だけでなくJA岩手ふるさと管内へと市内全体への十分な周知が必要では、と質しました。

倉成淳市長は「羊の放牧は草食能力や柔和な性格、高齢者にも容易に管理できることから、除草作業軽減にもつながる。羊の飼育が中山間地域



動物愛護の啓発と適切な飼育の周知を

の傾斜のきつい所の管理に有効であり、雑草管理の面でも、全市的に広がるような取り組みに努める」と述べました。



千葉敦議員は、犬や猫を中心に家族同様に過ごす方がいること、子どもへの情操教育、住民同士の動物を介した触れ合いなどをすすめるために、コロナ禍前に行っていた犬や猫の飼い方教室の再開など、適切な飼育の周知の機会が必要ではないかと質しました。また、ドッグランの整備についても取り上げました。倉成市長は「犬の飼育頭数は、10年前と比べ4分の3、4700世帯余と減っているが、複数の犬を飼う愛好家も多い。適正飼育について市民に伝えていく機会を増やしていきたい」と述べました。